



世界的な経済危機を乗り越えるため、自然エネルギーや地球温暖化対策に公共投資し、雇用や経済成長を生み出そうとする「グリーン・ニューディール」政策が国際的な潮流となっている。その中国の実践である「緑色発展」戦略の理論的根拠と、中国の歴史的発展に即した歩みを分析する。

出版：日本僑報社
発行：2014年1月
定価：2300円+税

すべて人のライフサイクルをミクロ的な基礎と捉える必要があり、これはすなわち異なる年齢段階で持続的・蓄積的に健康への資本投資を進めていく必要があるということであり、人の生命の全サイクルと健康サービスの全過程でのさまざまなタイプの人々をすべてカバーし、人口全体に普遍的に恵みをもたらす、現代化建設全体に溶け込んだ健康戦略システムを打ち立て、「知識・予防・医学・看護・養老」の五位一体の大健康サービスプラットフォームとネットワークをつくり上げることである。

報・管理・資本の活力を引き出す必要があり、資源配置によって市場の役割を十分に発揮し、政府の社会サービス購入などの方法により、社会資源の誘導と奨励を行って、重層的で多様化した、多角的な医療衛生サービス供給ネットワークを構築し、スマート健康産業を進展させ、力を合わせて健康という富をつくり上げ、異なるグループ、異なる種類の健康発展需要を満足させる。健康科学技術方面の研究・開発投入を増やし、科学的發明および革新成果の健康分野生産への転化・応用を急ぐ。



清华大学国情研究院院長、清华大学公共管理学院教授、博士課程指導教授。1988年に中国科学院の工学博士の学位を取得し、91年から92年までエール大学経済学部で博士研究員として在籍。2004年にロシア科学アカデミー東洋学研究所から経済学博士の称号を得る。中国の国情研究に関連する著作が日本語を含めて多言語に翻訳・出版されている。

（本稿は胡鞍鋼教授と清华大学国情研究院助手研究員・公共管理学院ポスドクの方王洪川氏の共同執筆による）

健康という生産力を優先的に発展

胡鞍鋼・王洪川＝文



近年、政府は農村住民の医療保健の質向上に力を入れている。写真は重慶市雲陽県の農村で訪問診療を行う医師（新華社）

人類はかつてのいかなる時期に比べても長寿となり、これは世界の現代化において最も重要な進展であり、また人類の現代化における重要なバロメーターともなっている。中国共産党第19回全国代表大会（党大会、19大）の報告では、人民の健康は民族の隆盛と国家の富強の重要なバロメーターであると初めて提起された。健康中国を全面的に建設することは、社会主義現代化強国の全面的建設に内在する要求であり、全人民の共同富裕化実現の核心的な表れである。

同時にわれわれは、現在の中国の人民健康サービス総供給量と適正化は依然として極めて不足しており、多元化・多様化・多層化した健康需要は増え続けている。健康サービスの供給と人民の健康需要との間の矛盾はより際立つものとなっていることに注意を向けなければならぬ。これは具体的に二つの面に現れている。一つは健康生産と健康サービス能力の発展がアンバランスなこと、基本医療衛生サービスの均等化レベルがまだ比較的低いことに体现されており、都市・

農村間、地域間、グループ間の健康レベルの違いが健康の格差を生み出している状況がまだ深刻であること。もう一つには健康生産と健康サービス能力の発展が不十分なこと、これは医療衛生システム効率がいまだ十分に高くなく、健康サービスの種類がいまだ比較的単一であり、人民大衆の多元化・多層化した健康需要をいまだ効果的に満足させることができないことに体现されている。こうした問題は、国家の衛生と健康発展戦略は必ず重心を人民の健康の新需要・新追求・新希望に置き、より公平でより十分な健康の発展を実現しなければならないことを物語している。